

京都市市民生活実感調査 調査票

生活実感

(依頼文と記入例は省略)

質 問	選 択 肢				
	そう思う	どちらか という そう思う	どちらか とも言え ない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
Q 1. 男女が個人として尊重され、共に個性や能力を発揮できる社会になってきている。	a	b	c	d	e
Q 2. 高齢者の知識や経験が尊重され、権利が守られている社会である。	a	b	c	d	e
Q 3. 生まれや生い立ちに関係なく、すべての人がいきいきと暮らせる社会になってきている。	a	b	c	d	e
Q 4. HIV感染者やハンセン病患者、刑を終えて出所した人、ホームレスなど、現代社会の様々な人権問題について、市民の正しい理解と認識は高まっている。	a	b	c	d	e
Q 5. 高齢者や障害のあるひとが社会参加できる機会が十分ある。	a	b	c	d	e
Q 6. だれもがいきいきと働ける場を得る機会がある。	a	b	c	d	e
Q 7. ボランティア活動などで、子どもの社会性が高まっている。	a	b	c	d	e
Q 8. 学校の先生は熱心に取り組んでいる。	a	b	c	d	e
Q 9. 万が一のことがあっても地域で支えあう仕組みがあるので、安心である。	a	b	c	d	e
Q 10. 障害のあるひとやその家族を支えるホームヘルプ（訪問介護）などのサービスが充実している。	a	b	c	d	e
Q 11. 子育て家庭のニーズに応じた保育サービスが充実している。	a	b	c	d	e
Q 12. 子育てに不安を感じたときに気軽に相談できるところがあるので、心強い。	a	b	c	d	e
Q 13. 正しい情報を基に、健康づくりに取り組む人が増えている。	a	b	c	d	e
Q 14. 利用しやすく頼れる医療や検査などの機関がある。	a	b	c	d	e
Q 15. 保健所などによる業者への監視や指導があるので、食品や住まいの衛生などに不安を感じることはない。	a	b	c	d	e

質 問	選択肢				
	そう思う	どちらか という と思う	どちら とも言 えない	どちらか という と思う	そう 思わ ない
Q16. 省エネや省資源に取り組むお店や買い物客、公共交通機関を利用する人が増えている。	a	b	c	d	e
Q17. ごみの減量、分別収集や集団回収などに取り組む人が増えている。	a	b	c	d	e
Q18. 防災情報、防災訓練などによって、災害から身を守る知識が備わってきた。	a	b	c	d	e
Q19. 自治会などの事故や犯罪を防ぐ取組により、安心して暮らせるまちである。	a	b	c	d	e
Q20. 京都は、まちの美しさや賑わいなどにより、歩いて楽しいまちである。	a	b	c	d	e
Q21. まちなかの移動にはバスや鉄道が便利である。	a	b	c	d	e
Q22. まちに散乱ごみが少なくなってきた。	a	b	c	d	e
Q23. 京都は水と緑をうまく生かしたまちである。	a	b	c	d	e
Q24. 京都では文化・芸術活動が盛んである。	a	b	c	d	e
Q25. 京都では多くの若い芸術家が育っている。	a	b	c	d	e
Q26. 京都では文化財に親しむ機会が多い。	a	b	c	d	e
Q27. 京都では市民レベルでの様々な国際交流が盛んである。	a	b	c	d	e
Q28. 大学や神社仏閣、博物館など京都ならではの様々な学習機会に恵まれている。	a	b	c	d	e
Q29. 学校や地域での取組など、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。	a	b	c	d	e
Q30. 京都はものづくりが活発に行われている。	a	b	c	d	e

質 問	選択肢				
	そう思う	どちらかという そう思う	どちらとも言え ない	どちらかという そう 思わない	そう 思わない
Q31. 京野菜や北山杉など、京都の農林業は魅力的である。	a	b	c	d	e
Q32. 京都は様々な方法で観光客をうまく呼んでいる。	a	b	c	d	e
Q33. 京都は国際会議などが盛んに開かれる都市である。	a	b	c	d	e
Q34. 京都は、大学間の交流が盛んであるなど、「大学のまち」として魅力がある。	a	b	c	d	e
Q35. 市民向け公開講座や地域との交流など、大学が身近に感じられる。	a	b	c	d	e
Q36. 京都にある大学や学術研究機関は多くの人材を育成したり研究成果をあげたりしている。	a	b	c	d	e
Q37. 若者が活動する場や情報が十分提供されている。	a	b	c	d	e
Q38. 鉄道駅の周辺や商店街が賑わっている。	a	b	c	d	e
Q39. 市内の道路は安全・快適である。	a	b	c	d	e
Q40. 京都は交通網が充実しているので、外国や国内各地との行き来がしやすいまちだ。	a	b	c	d	e
Q41. デジタル化により美術品や歴史的資料が文化や産業に生かされている。	a	b	c	d	e
Q42. 京都の観光情報がインターネットに掲載されているので、観光客にとって便利である。	a	b	c	d	e
Q43. 子どもたちに対して、時代に合った情報教育ができています。	a	b	c	d	e
Q44. 市役所や区役所のＩＴ化が進み、公共サービスが便利になった。	a	b	c	d	e

生活実感

質 問	選択肢				
	そう思う	どちらか という と思う	どちらと も言え ない	どちらか という とそう 思わない	そう 思わない
Q45. 市の職員と市政に関する意見交換が気軽にできる。	a	b	c	d	e
Q46. 市の計画や条例に対する意見募集や委員公募など、企画段階から市民が意見を言う機会が十分ある。	a	b	c	d	e
Q47. 多様な事業やイベントなどにおいて、市民や行政が力を合わせて取り組む機会が十分ある。	a	b	c	d	e
Q48. このアンケートなど、市民が市の仕事を評価する仕組みが整っている。	a	b	c	d	e
Q49. 身近な暮らしの相談ができるなど、区役所は頼りになる。	a	b	c	d	e
Q50. 新市庁舎ができることで、市役所が、市民に開かれたすべての人にやさしい施設になることが期待できる。	a	b	c	d	e

政策重要度

京都市では、次のような各分野の政策に取り組んでいます。

この中で、あなたにとって今、特に大切と思われる分野について、**5つまで選んで「○欄」**に○を付けてください。

分野・政策名	○欄	分野・政策名	○欄
1 人権文化 [ひとりひとりが個人として厚く尊重される]		15 生涯学習 [生涯にわたってみずからを磨き高める]	
2 住環境 [すべてのひとがいいきと活動する]		16 産業 [産業連関都市として独自の産業システムをもつ]	
3 しごと [すべてのひとがいいきと活動する]		17 観光 [魅力ある観光を創造する]	
4 学校教育 [子どもたちが心豊かで社会性を身につけみずからの生き方を学ぶ]		18 大学 [大学の集積・交流が新たな活力を生み出す]	
5 福祉 [すべてのひとが相互に支え合い安心してくらす]		19 青少年 [若者が集い能力を発揮する]	
6 子育て [子どもを安心して産み育てる]		20 個性と魅力あるまちづくり [個性と魅力あるまちづくり]	
7 健康（保健・医療，スポーツ） [心身ともに健やかにくらす]		21 交通基盤 [多様な都市活動を支える交通基盤づくり]	
8 環境 [環境への負担の少ない持続可能なまちをつくる]		22 高度情報化 [高度情報通信社会に対応できる基盤づくり]	
9 消防・防災 [災害に強く日々のくらしの場を安全にする]		23 情報公開 [情報を市民と共有する]	
10 生活安全（犯罪・事故，消費生活） [日常生活における身近な安全や安心を確保する]		24 市民参加 [市民の知恵や創造性を生かした政策を形成する]	
11 歩いて楽しいまちづくり [歩いて楽しいまちをつくる]		25 市政改革 [市民とともに政策を実施する]	
12 美しいまちづくり [美しいまちをつくる]		26 行政評価 [市民とともに政策を評価して市政運営に生かす]	
13 文化 [成熟した文化が実現する]		27 区役所を拠点とする地域づくり [個性を生かした魅力ある地域づくりを進める]	
14 国際交流 [国内外との多彩な交流を行う]			

※ []は、京都市基本計画の政策項目です。

市政関心度

あなたは**京都市政に関心**がありますか。次の中から**1つ選び**○を付けてください。

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. 関心がある | 2. 少しは関心がある | 3. あまり関心がない |
| 4. まったく関心がない | 5. わからない | |

自由記述

市に望むこと，このアンケートに關すること，その他**何でも結構**です。**ご意見，ご提案**がございましたら，ご記入ください。

(特に，アンケートで無回答，「そう思わない」又は「どちらとも言えない」とのご回答があった場合，その理由をお聞かせいただければ幸いです。)

◇ 最後に，あなたご自身のことについてお尋ねします。次の①～⑤の各項目について，該当する番号を**1つ選び**○を付けてください。

① 性 別

1. 男 2. 女

② 年 齢

1. 20 歳代 2. 30 歳代 3. 40 歳代 4. 50 歳代
5. 60 歳代 6. 70 歳代 7. 80 歳以上

③ 職 業

1. 自営業・自由業 2. 会社員・公務員等給与所得者 3. 主婦・主夫
4. 学生 5. 無職 6. その他（ ）

④ 居住区

1. 北区 2. 上京区 3. 左京区 4. 中京区 5. 東山区 6. 山科区
7. 下京区 8. 南区 9. 右京区 10. 西京区 11. 伏見区

⑤ 京都市での居住年数

1. 5年未満 2. 5～11年未満 3. 11～31年未満 4. 31年以上

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて**5月19日（月）までに**投函をお願いいたします。